

平成30年第4回大仙市議会定例会

市 政 報 告

平成30年11月27日

大仙市長 老 松 博 行

平成30年第4回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、韓国^{たんじん}唐津市との友好交流についてであります。

唐津市とは、両市の伝統文化であります「綱引き」を通じて、平成19年8月に「友好交流に関する協定」を締結しており、昨年度、協定締結から10周年を迎えております。両市では2年をかけて記念事業を開催することとしており、昨年度は唐津市で開催していただき、本年度は、10月12日と13日の両日、唐津市長や同市議会議長など18人の訪問団をお迎えし、本市で10周年を祝う催しを開催しております。

大曲市民会館小ホールで開催した記念式典では、地元選出の県議会議員をはじめとしたご来賓の皆様、議員各位、刈^{かり}和^わ野^の大^お綱^お引^つ保^な存^ひ会^きの代表者、経済団体の関係者のほか、次代の交流を担う西仙北小中学校の児童生徒など約350人にご出席をいただき、刈^{かり}和^わ野^の大^お綱^お太^な鼓^づ及び大仙市民謡愛好会による記念公演など行っております。また、西仙北地域で開催しました記念行事については、両市関係者のほか、西仙あおぞらこども園の園児をはじめ、地域住民の皆様にも参加をいただき、「友好道路看板除幕式」、「記念植樹」、「記念碑除幕式」を執り行ったほか、「機^き池^じ市^し綱^な引^ひき特別展」を開催しております。

このほか、両市の経済交流を推進するために「経済交流会議」を開催

しており、大曲商工会議所、大仙市商工会、秋田おばこ農業協同組合、大仙市観光物産協会などの代表者が参加し意見交換を行ったほか、夜には「大曲の花火 秋の章」を観覧いただいております。

協定締結後、青少年交流やスポーツ交流など多岐に渡る分野で親交を深めてまいりましたが、今後も両市で育んできた絆を大切に、更なる交流の発展に努めてまいります。

次に、雪対策についてであります。

本格的な降雪期を前に、市民、事業所、行政が一丸となり雪に負けない市民協働のまちづくりを推進するため、11月2日、大曲市民会館において「『ゆき・まち』だいせん2018」を開催しております。当日は、自治会や自主防災組織の代表者、道路除雪業者、除雪ボランティア「大仙雪まる隊」など約250人が参加し、雪対策における先進的な取組を進めている岩手県たきざわ滝沢市上かみのやまの山自治会による講演や、除雪等の合同出動式を開催しております。

「高齢者等雪対策総合支援事業」については、さくとう昨冬の豪雪により、間口除雪における支援の課題が明らかになったことから、通路面積による段階的な支援を設定し、助成券の発行枚数や助成率を変更する一部見直しを行っております。11月21日現在、昨年度を上回る933世帯から利用申請があり、間口除雪の支援が506世帯、雪下ろし事業者の

割当て希望が559世帯、これに対応する雪下ろし登録事業者が115事業者となっております。

また、2年間のモデル期間を経て、昨年度から本格的に実施しております「地域協働雪対策事業」については、11月15日現在で25団体から事業計画が提出され、このほど交付決定を行っております。

道路除雪事業については、本年度も大曲地域を除く7地域においてプロポーザル方式により選定された7共同企業体、及び従来どおり選定された大曲地域18法人を合わせた25経営体と、10月31日付で業務委託契約を締結しております。

次に、部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

職員採用試験については、「大学卒業程度」に92人の申込みがあり、一般事務職上級18人、上級建築1人、保健師4人、管理栄養士2人、移住定住者2人を合わせて27人が合格しております。

また、「短大・高校卒業程度」には28人の申込みがあり、一般事務職初級7人、初級土木2人を合わせて9人が合格したほか、「障がい者を対象にした新たな採用枠」では4人の申込みがあり、2人が合格しております。

職員の意識改革や人材育成などを図るため、今年度から進めておりま

す「民間企業との人事交流」については、平成32年3月までを期限とし、7月に株式会社秋田銀行、10月に東日本旅客鉄道株式会社秋田支社及び株式会社北都銀行へそれぞれ職員1人を派遣しております。また、各企業からも同様に社員1人を派遣していただき、まちづくり課、観光交流課、農業振興課の各業務にあたっていただいております。

次に、企画部関係についてであります。

移住を希望する方などを対象とした「大仙市移住促進無料職業紹介所」については、11月1日にまちづくり課内に開設しております。本年度採用した移住コーディネーターが移住希望者に対して直接地域企業を紹介することにより、本市への移住促進につなげてまいります。

「秋田新幹線防災対策トンネル整備促進期成同盟会」については、11月14日、仙北市長、盛岡市副市長からご参加をいただき、秋田、岩手両県選出国會議員並びに財務省や国土交通省に対して本トンネル整備の早期実現に向けた要望活動を行っており、翌15日には、大曲商工会議所会頭とともに、秋田県知事をはじめとする県の要望活動に同行し、官房長官及び大臣等に対し同様の要望を行っております。

次に、市民部関係についてであります。

「大仙市安全安心推進集会」については、10月18日、神岡農村

環境改善センターにおいて、交通安全、防犯、防災、青少年健全育成の各関係団体から、約200人の皆様に参加をいただき、個人4人と2団体に対する功労者表彰のほか、昨年の大雨による災害を踏まえ、国土交通省湯沢河川国道事務所長の^{おかもとひろき}岡本弘基氏から、雄物川の災害と減災について講演をいただいております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

敬老会については、9月3日の太田地域を皮切りに15会場で開催し、3,683人の皆様から参加をいただいております。

金婚式については、10月30日に仙北ふれあい文化センターを会場に開催し、申請のあった66組のご夫婦の結婚50周年を祝福しております。

災害対策基本法に基づき作成しております「避難行動要支援者名簿」については、9月11日から市内8会場において、自治会を含む避難支援関係者に対し名簿の取扱いに係る説明会を開催したほか、169団体へ要支援者の情報を提供したところであり、災害時の適切な避難支援につなげてまいります。

次に、農林部関係についてであります。

減反制度廃止後、初となる稲作については、10月15日現在の全国

の作況指数が「99」の平年並み、秋田県及び県南が「96」のやや不良と発表されております。一方で、秋田おばこ農業協同組合の取りまとめによる本市の一等米比率は、11月19日現在で99.2パーセントとなっており、昨年同様高い水準となっております。

11回目となる「大仙農業元気賞表彰」については、10月10日、西仙北地域と中仙地域で活躍している若手農業者3人を表彰しており、これまで受賞された34人と同様、地域農業をけん引する若きリーダーとして、大いに活躍されることを期待しております。

14回目となる「大仙市秋の稔りフェア」については、10月20日と21日の両日、大曲ヒカリオ広場及び花火通り商店街を会場に開催しております。天候にも恵まれ、約4万8千人のご来場をいただき、多くの皆様から稔りの秋を楽しんでいただいております。

市内産大根を活用した「いぶりがっこの産地化」に向けた取組については、秋田県立大学及び秋田県総合食品研究センターとの連携のもと、市内に試験ほ場を9カ所設置し、加工用大根栽培の研究を実施しております。現在は収穫作業に加え、大根の燻し、漬け込み作業を行っており、栽培品種や土壌適正等を調査し、原料大根の生産拡大につなげてまいります。

また、いぶりがっこの産地化の取組を含めた六次産業や基幹作物である米のほか、市内産農作物の中で県内シェアの高いトマト、えだ豆、

アスパラガス、大豆など、魅力あふれる農業資源を最大限に活用し、
「農業と食」をテーマとする新たな活性化構想の策定を計画しており、
今次定例会に債務負担行為に係る予算の補正をお願いしております。

次に、経済産業部関係についてであります。

「大曲の花火 秋の章」については、10月13日に、夏の全国花火
競技大会と同じ会場で開催し、バラエティー豊かな劇場型花火に加え、
初めての試みとなる視聴覚障がい者の方も楽しめる花火の打上げが行わ
れたほか、JR大曲駅前では「大曲エキまつり」が開催され、多くの人
で賑わっております。

14回目となる「大仙市技能功労者表彰」については、10月17日
に推薦団体や議員各位をはじめ多数の方々に出席をいただき、永年にわ
たり本市産業の発展に尽力された優れた技能を持つ煙火製造業、電気
工事業、フラワー装飾士の3分野から3人の方々を表彰しております。

また、「優良技能者表彰」については、技能五輪全国大会で入賞し、
技能向上に取り組む姿勢が他の模範と認められる建築大工業の1人を
初めて表彰しております。

11回目となる「大仙市首都圏企業懇話会」については、11月21
日、東京都において開催し、本市に縁ゆかりのある企業関係者に加え、地元
選出の国会議員、ふるさと会役員、議員各位、市内商工団体の関係者

など合わせて77人が参加しております。懇話会では、セイコーインスツル株式会社の半導体部門を引き継いだ「株式会社エイブリック」、協和地域稲沢に木質バイオマス発電所を整備中の「秋田グリーン電力株式会社」から、それぞれの取組について講演をいただいたほか、市政報告や企業支援策の紹介を行い、参加企業の現状などについて情報交換を行っております。

次に、建設部関係についてであります。

平成元年の事業認可からおよそ30年にわたり進めてまいりました「大曲都市計画事業 大曲駅前第二地区土地区画整理事業」については、7月20日に換地処分公告を行い、事業が完了しております。11月3日には、大曲中通街区公園において、地元選出の国会議員をはじめとしたご来賓など関係者75人の出席のもと、完成記念式典を開催し、記念碑の除幕式や記念植樹などのセレモニーを行っております。今後は、権利に対する清算金の徴収又は交付事務等を、平成34年度まで行うこととしております。

次に、災害復旧事務所関係についてであります。

昨年、2度にわたり発生しました大雨災害に伴う「災害復旧事業」については、本年5月の大雨による被災箇所を含め、全体で188カ所、

工事費にして21億582万円となっており、10月末現在で159カ所の工事を発注しております。このうち98カ所は既に完成しておりますが、8月5日の大雨により再度被災した協和地域の^{たいせいあらかわこうざん}大盛荒川鉦山線については、11月1日に国の査定を受け、所要の手続きを進めております。

地すべりを起因とした道路災害3路線のうち、通行規制をしておりました協和地域の^{みやたまた}宮田又線については、10月30日に復旧工事が完成しております。残る協和地域の^{うえのいずみさわやま}上野泉沢山線及び西仙北地域の^{にしのでらのした}西野寺ノ下線については、順次発注準備を進めてまいります。

本年5月18日に発生しました大雨災害に伴う復旧対応については、11月中に西仙北地域及び南外地域の山地崩落2カ所について発注しており、残る協和地域の林道災害3カ所については、年度内の早期発注に努めてまいります。

次に、教育委員会の教育指導部関係についてであります。

「大曲中学校水泳プール改築事業」については、既存プールの解体が完了し新プールの建設を進めておりますが、11月19日に議員説明会で申し上げましたとおり、地盤改良の工法の変更などによる対策が必要になったことから、現在、事業費を精査中であり、準備が整い次第、関連する予算の補正をお願いすることとしております。

学校施設へのエアコンの設置については、猛暑による熱中症などの健康被害から児童を守るため、国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を活用し、市内小学校の空調設備を整備することとしており、今次定例会に実施設計に係る予算の補正をお願いしております。

中仙地域の学校統合については、これまで2回にわたり、地域の小中学校、保育園及び認定こども園の保護者に対しアンケート調査を実施しており、小中学校ともに統合を望む意見が7割を超える結果となっております。10月には調査対象者のほか中仙地域協議会に報告したところであり、今後は、保護者、地域住民、学校関係者で構成する「中仙地域学校再編素案検討委員会」を設置し、統合に向けた検討を進めてまいります。

次に、生涯学習部関係についてであります。

第40回全県500歳野球大会については、9月23日から27日までの5日間、神岡野球場を主会場に市内18会場で開催され、全県各地から182チームが出場しております。大会初日は天候不良により日程を1日順延いたしました。その後は天候に恵まれ、無事に大会を終了しております。なお、本大会の上位2チームは、来年7月に予定される第3回全国500歳野球大会への出場権を得られることとなっております。

2回目となる「大仙市音楽祭」については、11月10日と11日の両日、大曲市民会館を会場に開催し、延べ1,638人の皆様にご来場いただいております。初日は、大仙市民の歌「夢この大地」をテーマに、市内の児童生徒によるコンサートをはじめ、幅広い世代の愛好者による音楽会、山形交響楽団による本格的なオーケストラ公演を行っております。2日目は、子育て世代の応援を目的とした「0歳からのオーケストラ」に続き、地元音楽団体や個人が一堂に会するコラボコンサートを行っております。

最後に、平成31年度当初予算編成について申し上げます。

来年度は、「第2次大仙市総合計画前期実施計画」並びに「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画最終年度であり、これまでに実施してきた事業を検証し、将来にわたり活力あるまちづくりの推進に向け、課題となっている人口減少や少子高齢化対策、公共施設の老朽化対策など、様々な課題の解決と市民の満足度向上につながる予算編成に努めてまいります。

主な事業として、「西仙北中央公民館」及び「大曲武道館」の建設のほか、継続事業であります「大曲中学校水泳プール改築事業」などが予定されている一方、「花火伝統文化継承資料館」や「広域消防本部」の建設が完了したことから、一般会計の当初予算総額は、現時点の推計

で本年度当初予算を下回る430億円前後になるものと見込んでおります。

また、近年の当初予算では、合併特例期間の終了に伴う普通交付税の段階的な縮減などによる財源不足に対し、財政調整基金の取り崩しにより収支の均衡を図っている状況にあることから、全事務事業の総点検による見直し結果を予算編成に反映させるとともに、歳入に見合った効率的で健全な財政運営を図ってまいりたいと考えております。

なお、予算編成にあたっては、「市民目線に立った事業の実施」、「大仙市の将来を見据えた施策の展開」の2点を基本的な考え方とし、「少子化・人口減少対策」、「地域資源の活用」、「地域の人づくり」、「だいせんライフの確立と発信」、「防災減災対策の推進と都市基盤の整備」の5つの視点に基づき編成作業に取り組んでまいります。

以上、諸般の状況を申し上げますが、これ以外のものについては、別添のとおり報告させていただきます。

今後とも市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。市政報告とさせていただきます。

別添

平成30年第4回大仙市議会定例会
市政報告

市長報告以外の諸般の報告

平成30年11月27日

大 仙 市

目 次

【総務部】

- 1 「明治150年」事業について..... 3

【企画部】

- 2 「イクボス研修」について..... 3

【農林部】

- 3 水稻の直播栽培導入推進事業について..... 3

- 4 園芸メガ団地のトマト栽培について..... 3

- 5 各地域における秋のイベントについて..... 3

- 6 クマの出没状況について..... 4

- 7 鮭資源の確保活用事業について..... 4

【経済産業部】

- 8 平成31年3月高校卒業予定者の就職活動状況について 4

- 9 若年者の地元定着対策等について..... 4

- 10 大仙市企業連絡協議会と市部長会との研修会及び情報交換会について . 5

- 11 あきたリッチセミナー i n N A G O Y Aについて 5

- 12 足利大学との連携事業について..... 5

- 13 大仙市ふるさとフェア2018 i n 有楽町について..... 5

- 14 秋田県「秋の大型観光キャンペーン」期間中の花火の打ち上げについて . 5

- 15 第24回宮古市産業まつりについて..... 5

- 16 第27回大仙市大曲ドリンクテーリングについて..... 6

- 17 クルーズ船寄港に伴う「大曲の花火」の打ち上げについて 6

- 18 宮崎県宮崎市との有縁友好交流について..... 6

- 19 旧池田氏庭園弘田分家庭園のライトアップについて 6

- 20 まるごと秋田だいせん i n 浅草について..... 6

- 21 神奈川県座間市との友好交流について..... 6

【建設部】

- 22 雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業（国）について 7

- 23 災害復旧関連事業等（県）について..... 7

【教育委員会 教育指導部】

24	だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業について	7
25	こころのプロジェクト「夢の教室」について.....	7
26	「大曲の花火 秋の章」子ども招待事業について.....	8
27	協和中学校野球場について.....	8

【教育委員会 生涯学習部】

28	国民文化祭継承事業について.....	8
29	東北将棋大会について.....	8
30	「だいせん読書の日」について.....	8
31	文化財関係の特別公開並びに講演会の開催について	8
32	日本リトルシニア中学硬式野球第40回秋季新人東北大会について....	9

【上下水道局】

33	簡易水道事業について.....	9
----	-----------------	---

【総務部】

1 「明治150年」事業について

7月から10月までの間、本市の近代化を主要テーマとしたシンポジウムを4回、市内の文化的遺産を探訪するヘリテージツアーを3回開催しました。

また、12月1日まで大仙市アーカイブズにおいて、企画展を開催しています。

【企画部】

2 「イクボス研修」について

11月12日、大曲庁舎3階大会議室を会場に開催し、市管理職や市内事業所担当者など71人が参加しました。働きやすく多様性を活かした職場づくりやワーク・ライフ・バランスの充実に向け、特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン東北代表理事の竹下小百合^{たけした さゆり}氏による講演を行っています。

【農林部】

3 水稻の直播栽培導入推進事業について

9月19日、今年度、設置した仙北地域高梨地区の実証ほ場で2回目の現地検討会を開催し、直播栽培の取組農家や仙北地域認定農業者協議会会員など28人が参加しました。農研機構東北農業研究センターによる無コーティング種子直播栽培の生育状況の説明や意見交換が行われました。

4 園芸メガ団地のトマト栽培について

11月3日に今年度の収穫作業を終えております。出荷量は、7月の高温による花落ちや裂果により、計画の7割程度となる176トンでしたが、全国的な収量減少により単価が上昇し、販売額は前年に比べ2割程の増加と伺っております。今後は安定した収量の確保に向け、栽培手法や体制の見直しを図り所得向上のための取組を支援していきます。

5 各地域における秋のイベントについて

10月20日と21日の両日に開催した「第14回大仙市秋の稔りフェア」をはじめ、各地域では秋のイベントが次のとおり開催され、それぞれ盛会裏に終了しています。

- 10月13日、14日 第31回全国ジャンボうさぎフェスティバル
// きょうわ祭
- 10月14日 かみおか地域文化祭
// 史跡の里の秋まつり
- 10月27日、28日 にしせんぼく文化祭
// 太田地域芸術発表会
- 10月28日 おらだの秋フェス なんがい地域祭
- 11月3日、4日 なかせん芸術文化祭
- 11月17日、18日 大曲地域文化祭

6 クマの出没状況について

11月16日現在、市内でのクマの目撃件数は103件、捕獲数は59頭で、今年の同時期と比較し、目撃件数で37件、捕獲数で4頭少なくなっています。今後は冬眠の時期に入り、収束に向かうものと予想されますが、引き続き市民への注意喚起を行ってまいります。

7 鮭資源の確保活用事業について

玉川及び丸子川において12月下旬までに約5千匹の鮭を採捕する計画です。10月20日と21日の両日に行われた「第14回大仙市秋の稔りフェア」では、丸子川街区公園を会場に、地元商店街と雄物川鮭増殖漁業生産組合の協力のもと、小学生を対象とした鮭の掴み取りを開催したほか、ウライの見学や丸子川の鮭料理の試食会などを行い、本市の鮭文化をPRしました。

【経済産業部】

8 平成31年3月高校卒業予定者の就職活動状況について

9月末現在のハローワーク大曲の集計によると、求人数が575人、昨年同期に比べ11.4ポイント上回っています。就職希望者は307人、このうち内定者は194人となっており、就職内定率は63.2%と昨年同期に比べ4.3ポイント増加しています。

9 若年者の地元定着対策等について

11月14日と16日の両日、あきた就職活動支援センターとの共催により大曲地域職業訓練センターを会場に、若年者の早期離職防止と管理職のスキルアップを目的とした「職場定着セミナー」を開催し、63人が参

加しました。今後も若年者の地元定着をはじめ、多様な人材の雇用促進を図るための取組を積極的に実施します。

10 大仙市企業連絡協議会と市部長会との研修会及び情報交換会について

1 1月9日、大曲商工会議所工業部会の「夢を語る会」との合同により、工業製品展示会や講演会を行ったほか、企業関係者との情報交換のための交流会を開催しました。

11 あきたリッチセミナー in NAGOYAについて

1 0月23日、秋田県知事が会長を務める秋田県企業誘致推進協議会の会員として参加し、企業に本市の立地環境等を紹介したほか、各業界の動向や今後の事業展開などについて情報交換を行いました。

12 足利大学との連携事業について

9月11日と12日の両日、花火産業構想の施策の一つである「花火を支える人材の育成」に係る事業として、足利大学大学院教授丁大玉氏ていたいぎよくによる煙火学出前講座を開催し、大曲農業高校、大曲工業高校及び六郷高校の2年生93人が花火の歴史や種類、発色の仕組みなどについて学びました。

13 大仙市ふるさとフェア2018 in 有楽町について

9月21日と22日の両日、市観光物産協会が中心となり、東京の有楽町駅前広場で6回目となる本フェアを開催しました。特産品や新鮮な農産物の販売に加え、花火ダリア、ダリア焼酎の紹介を行うなど「花火のまち」を積極的にPRしており、ふるさと会の会員をはじめ、一般のお客様にも多数来場いただきました。

14 秋田県「秋の大型観光キャンペーン」期間中の花火の打ち上げについて

1 0月10日から14日までの間、本キャンペーンの盛り上げと「大曲の花火」の知名度向上のため、中核イベントであるSL列車の運行に合わせ、昼花火の打ち上げを4回行いました。

15 第24回宮古市産業まつりにについて

1 0月13日と14日の両日に開催され、本市及び市観光物産協会職員から6人が参加し、特産品の販売や観光PRを行ったほか、オープニングセレモニーで昼花火を打ち上げ「大曲の花火」を紹介しました。

16 第27回大仙市大曲ドリンクテーリングについて

10月20日、秋の稔りフェアの協賛事業として開催し、大曲地域の飲食店24店のうち指定された3店と自由に選べる3店の計6店を巡る本イベントに940人が参加しました。

17 クルーズ船寄港に伴う「大曲の花火」の打ち上げについて

10月24日、クルーズ船寄港に合わせ、訪日外国人の誘客を図るため、秋田県港湾空港課と連携し「大曲の花火」の打ち上げを行ったほか、専用ターミナルにおいて、本市のPRと特産品の販売を行いました。

18 宮崎県宮崎市との有縁友好交流について

10月26日から28日までの3日間、協和地域さどわら会の会員をはじめ、市長、市議会副議長など関係者25人が宮崎市を訪問し交流を深めたほか、宮崎神宮大祭のパレードで「大曲の花火」や「500歳野球大会」など本市のPRを行いました。

19 旧池田氏庭園弘田分家庭園のライトアップについて

11月3日と4日の両日、「晩秋のファンタジーナイト」を開催し、グルメイベントのほかサクスの生演奏やジャズライブを行い、約3,200人が訪れ、色とりどりに染まった庭園の幻想的な景色を楽しんでいただきました。

20 まるごと秋田だいせん in 浅草について

11月10日と11日の両日、全国の市町村のモノと文化が集まる浅草の複合施設「まるごとにつぼん」を会場に、初めて開催しました。地酒、漬物などの特産品や新たなお土産ブランド「秋田・大仙 せんのぜん」の販売のほか、ドンパン娘によるドンパン踊りの披露などを行い、多くの方に来場いただきました。

21 神奈川県座間市との友好交流について

11月17日から19日までの3日間、市民団体「中仙連合婦人会」の13人が神奈川県座間市を訪問し、「座間市地域婦人団体連絡協議会」の8人と調理体験などを通じて交流を深めました。

また、18日には「第33回座間市民ふるさとまつり」が開催され、市長、市議会副議長をはじめ、市職員や物産中仙株式会社社員などの関係者が参加し、特産品等の紹介や販売、観光PRを行いました。

【建設部】

22 雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業（国）について

9月末現在、堤防や構造物の設計が対象となる6地区全てで完了し、用地調査や用地補償業務を進めているほか、築堤工事や堤防の嵩上げ工事を5地区で実施しており、進捗状況は約6割と伺っています。

23 災害復旧関連事業等（県）について

淀川、土買川及び檜岡川で、それぞれ災害復旧事業及び関連事業の工事を実施しているほか、構造物設置に係る地質調査や橋りょう、樋門等の設計業務にも着手していると伺っています。

また、南外地域の神岡南外東由利線（下袋バイパス）については、11月20日に全線開通しています。

【教育委員会 教育指導部】

24 だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業について

10月29日、大曲南中学校を会場に避難所開設訓練等を実施し、地域の自主防災組織や中学生サミットのメンバーなど約230人が参加しました。水害発生時の避難訓練と避難所開設における初期対応を体験したほか、映像資料をもとに水害発生時の対応に関連する研修会を行っています。

また、7月3日には平和中学校、10月31日には大曲中学校が地域住民や関係機関と連携し、シェイクアウトや避難所開設訓練を実施しています。

25 こころのプロジェクト「夢の教室」について

10月22日から24日までの3日間、小学校2校の5、6年生及び中学校5校の全生徒を対象に、ピアニストの佐藤卓史^{さとうたかし}氏を各校に迎えて実施しました。また、11月21日と22日の両日、小学校4校の5、6年生を対象に、チェリストの羽川真介^{はがわしんすけ}氏を講師に迎え、各校で開催しました。

26 「大曲の花火 秋の章」子ども招待事業について

10月13日、市内の小学校4、5年生と大曲支援学校の児童生徒やその保護者を招待し、約680人が参加しており、大会成功に向けて取り組む多くのボランティアの活動に触れるなど、花火鑑賞を通じてふるさとの良さを体験しています。

27 協和中学校野球場について

10月1日、のり面災害復旧工事が完了しました。

【教育委員会 生涯学習部】

28 国民文化祭継承事業について

「第29回国民文化祭・あきた2014」の継承事業として、9月30日に「子ども囲碁大会」と「初心者囲碁入門教室」を、10月21日に秋の稔りフェアと融合した「ヒカリオ☆MIRAIステージ」を開催し、両事業合わせて約2千人が参加や鑑賞をしました。

29 東北将棋大会について

11月7日から10日までの4日間、西仙北青少年自然の家を会場に、東北地方の9大学から68人が参加し、団体戦と個人戦が行われ、それぞれ熱戦が繰り広げられました。

30 「だいせん読書の日」について

「第2次親と子の夢を育む読書活動推進計画」により毎年11月第1木曜日を「だいせん読書の日」と定め、11月1日で4年目を迎えました。大曲図書館を会場に開催した「来ぶらりフェス^{らい}」を開催したほか、各図書館では、読書を推進するための関連イベントを実施し、合わせて延べ1万2千人以上の方に来館いただきました。

31 文化財関係の特別公開並びに講演会の開催について

10月20日から11月18日までの間、旧池田氏庭園並びに旧本郷家住宅の特別公開を行いました。

公開期間中の11月3日には、国の重要文化財に指定された「旧池田家住宅洋館」の魅力伝えるため、文化庁文化財調査官井川博文氏^{いかわひろふみ}による講演会、また、11月11日には秋田大学教授渡辺英夫氏^{わたなべひでお}による角間川歴史まちづくり講演会を開催し、多くの方々からご聴講をいただきました。

32 日本リトルシニア中学硬式野球第40回秋季新人東北大会について

9月29日から4日間にわたり、東北連盟に加盟している52チームを迎え、本市8会場のほか、横手市4会場、美郷町1会場で開催し、東北各地から選手やその保護者など関係者約3,000人が訪れました。

【上下水道局】

33 簡易水道事業について

9月13日、協和南部地区簡易水道事業の配水管更新工事に係る地質調査業務委託のほか、10月4日に中仙地域入角地区簡易水道事業の水源新設工事に係る測量業務委託をそれぞれ締結しました。